


Parlando

ぱるらんど 「語りかけるように歌う」という意味の楽想記号です

264



Contents

- 忘れえぬ〈マリア・カラス〉の声…高市貴久枝●1
- Parlando Interview 生を、同じ空間を、共有するノ…秋山恵美子先生 きき手・市川利次…●2
- 図書館委員の先生からのおすすめ ～この図書あの図書～①
『いいなづけ —17世紀ミラーノの物語—』…一ノ瀬俊和●6
私のお薦めの一冊 『音楽教育学大綱』 Grundriß der Musikpädagogik
Sigrid Abel-Struth 著 山本文茂監修…江崎公子●6
- お伽歌劇《ドンブラコ》…小関康幸●7
- 歌の国 スウェーデン…三宅巖●8
- 参考図書室をあるこう②…●9
- Music Online の簡単・使い方…二塚恵里●10
- 新 OPAC (KCML  OPAC) について③…●11
- 図書館のう・ご・き…松浦淳子●12
- 館長室の窓から ⑩ 夕暮れの市壁…佐藤真一●13
- ばるらんとのおゆみ その⑬ 図書館員のノートから ④…●13
- DVD/Book/CD…宮西一弘・成清翠・浅田直樹●14
- Information…●16

忘れえぬ 〈マリア・カラス〉の声

高市 貴久枝

昔話になりますが、40数年前、私が国立音楽大学ピアノ科の3年生の時でした。村田武雄先生の「音楽鑑賞論」の講義で、20世紀の名ソプラノ歌手、マリア・カラスが歌う、ヴェルディのオペラ『オテロ』の第4幕でオテロの妻デズデーモナのアリア《柳の歌》アヴェマリア》を聴きました。なんだか、異様とも思えるほどこころに深く残りました。先生は、毎回レコードをお持ちになり、さまざまな音楽を聴かせてくださいました。大半のものは忘れてしまいました。この《柳の歌》の強烈な声は、今でも色あせることなく、いつまでも耳に残っており、きつと生涯忘れることはないでしょう。カラスの声は、豊かな色彩と陰影を持ち、デズデーモナの哀れさ、寂しさの微妙な心理と感情を写し出していました。

村田武雄先生は、音楽評論家として、今でも続いているNHKラジオ番組『音楽の泉』の解説をしておられ、美しく、流れるような話し方が素晴らしかったです。先生の「声の奥から音楽の内面を表現している、カラスのすばらしさを学生に解ってほしい、感じてほしい」という熱意を強く感じ、このことを覚えております。演奏とは、こういうものなのだなと学生ながら感じ取ること

ができました。自分も人の心に深く残るような、ピアノを弾かなくてはと思いました。今日、昔のレコードのCD化によって貴重な演奏の録音が残され、聴く機会が持てるのはうれしいことです。カラスの声が聴きたくて、図書館から、CDや資料をお借りして、数十年前に聴いたカラスを再聴できました。カラスは一度もオペラ『オテロ』には出演しておらず、この《柳の歌》は、1964年4月に、パリのワグラム・ホール（録音の為だけに使われるホール）に於いて、レッシーニョ指揮、パリ音楽院管弦楽団（変遷を経て、今日ではパリ管弦楽団）によって録音されEMIから発売されたものでした。マリア・カラス40歳のときでした。私は、その翌年1965年に聴いたことになりました。多分、先生は、発売されてすぐにお聴きになり、カラスの素晴らしさを学生に聴かせたかったのでしょう。お気持ちを察することができません。15年前、ウィーンに研修にいった時、夜毎オペラ座に通い、1年で100ほど観ました。これもカラスの声の影響でしょうか？これからも深くこころに残る音楽にめぐりあえることを願って！

● たいちちきくえ 本学准教授(ピアノ)

なま 生を、同じ空間を、共有する！



秋山 恵美子 先生

秋山 恵美子（あきやま えみこ）

東京都出身。国立音楽大学卒、同大学院修了。第19回文化放送音楽賞受賞、第42回日本音楽コンクール声楽部門第2位。團伊玖磨のオペラ《夕鶴》のつづ、《椿姫》のヴィオレッタ、《フィガロの結婚》の伯爵夫人、スザンナ、《メリー・ウィドウ》のハンナ、《バラシエンヌ》、《こうもり》のアデーレ、ロザリンデ等、オペラ、オペレッタの主要な役を務める。《第九》《メサイア》等のソリストとして定評があり、また、歌曲演奏においても高い評価を得ている。《サウンド・オブ・ミュージック》《王様と私》などのミュージカルや、映画「椿姫」にも出演。現在、国立音楽大学教授。二期会会員。

オペラ、オペレッタ、ミュージカル、歌曲、唱歌、童謡…、幅広いレパートリーをお持ちの秋山先生。音楽・舞台・教育にかける情熱、たゆまぬ向学心について伺いました。

あー、ピアノが弾けるノ

―ご出身はどちらでしょうか？

秋山 目黒生まれの府中育ちです。小学生当時、府中の家の周辺は、畑がほとんどで、空高く鳴くヒバリの声を聞いて育ちました。母が買物から帰ってくるまで、よく歌を歌っていました。当時小学生向けの雑誌の付録に歌詞集があって、知っている歌を片っぱしから歌っていくんです。中でも《浜千鳥》は大好きでした。《菩提樹》は難しくて歌えませんでした。大きくなら歌えるようになるまで母から言われたのを覚えてます。「みぎにはえりぬ」は、「幹に生えりぬ」だか、「子供でしたから（彫りぬ）」だか、子供でしたから

さっぱり分かりませんでしたね。

―メロディーは？

秋山 学校で習った歌か、ラジオで聴いていた歌だったのだと思います。安西愛子さんや松田としさんの番組や、ラジオ歌謡等で…。テレビはもちろん、今のようなダウンロードで音楽が手に入る時代でも、オーディオなどが一般家庭にある時代でもなかったですからね。

ある日、幼稚園の先生が訪ねてらして、「今度幼稚園でピアノを教えることになって、恵美子ちゃんには音楽が好きみたいだから、どうですか」って誘ってくださった。うちにはすごいグランドピアノがあつて、「両手を40センチ程広げ」これ位の（大笑）。嬉しくてね！おもちゃのピアノをパーンって鳴らしたのを覚えています。あー、ピアノ弾けるんだノって。小学2年の時のことです。でも楽譜もないんです。一緒に習っている人に楽譜を借りて練習しました。その後、祖父がオルガンを買ってくれました。足踏み式で49鍵。

— 学芸会とか、発表会とかは？

秋山 苦手でした。幼稚園の時、「狼と七匹の子山羊」に出たのですが、恥ずかしくてしようがなかったです。

— 中学校になつてからは？

秋山 合唱部に入りました。混声3部合唱で、♪お江戸日本橋七つ立ち〜とか、歌っていました。パートはアルト（楽譜が読めるからつて〜）でしたが、その経験は後にオペラでも役にも立ちました。例えばスザンナや他の役の場合でも、時々、下に回ることがありますね。それが結構楽しくて好きなんです。合唱部では、NHK全国合唱コンクール入賞や、教科書用のレコード録音を経験させていただきました。そうそう当時の、東京京都知事のご臨席された日比谷公会堂の演奏会で、ウェーバーの《魔弾の射手》の合唱曲を歌う機会を得たこともありました。

— 高校はどちらへ？

秋山 都立立川高校に入り、すぐ音楽部に入部しました。混声と男声がありました。男声コーラスの声が本当に素晴らしく、《柳川》や、《山に祈る》や、《月光とピエロ》や《カリンカ》など、ワクワクしながら聴きました。当時の音楽部は、「青少年音楽台本シリーズ」を

使用し、オペラ上演を行っていました。私達の代は服部正先生の《真間の手古奈》を上演しました。

今思うと、盛んなのは音楽だけでなく、学校全体に活気があって、リベラルで、バンカラな気風に満ちていたように思われます。生徒達も、そうしたことをよくわきまえて、勉強も、生活も、部活も、自分達で律するようにしていました。体育祭や合唱祭等の行事も多く、みんなも熱心に参加していました。私も応援歌を作ったり、「フレッツノフレッツノ」と男子顔負けの声を張り上げたりしましたね。合唱祭では指揮を任せられ緊張しました。そうそう、闇鍋も体験しましたよ。お汁粉の中に、塩の固まり入りのお団子が入ってたりして、当たった人は大騒ぎでした。

国立音大へ行きたい！

— 音大に行きたいと思われたきっかけは？

秋山 歌が好きだけど、将来どうしようか？って考えたんです。みんな、夢を見るじゃないですか。その中で、実現できる一番近いところにあるのは、音大？ちやうどその時ピアノを習っていた先生

が、他の音大で声楽を教えてらっしゃる方だったので、受験指導をお願いしました。その先生からは、本当に厳しく基本をご指導いただきました。先生に、国立音大を受けたいとお願ひしたら、大学が違うにもかかわらず、武岡鶴代先生を紹介してくださいました。

— 音大の時の先生は？

秋山 伊田栄子先生です。早くから、ずっとドイツ・リートを勉強させていたでいておりました。1年生の時、立高で、《セピアの理髪師》の上演があつて、呼んでいただき、ベルタをやらせていただきました。国立音大の中瀬絹江さんと藤原歌劇団の清水義人さん、津田孝雄さんといったベテランの中で歌わせていただきました。3年生の時には、当時の「オペラ研究室」のオーディションに受かり、《魔笛》のコーラスに参加させていたでいておりました。演出の栗山昌良先生にはその時から、ご指導して

いただいております。当時は大変厳しいご指導と思っておりましたが、今は本当にラッキーなことだったと思っております。外に出てみたら、どれだけプラスになっていたかがよく分かりましたから。

— 大学院は？

秋山 西内静先生でした。オペラ

では、《魔笛》のパミーナを歌わせていただきましたが、一方で、作曲の中村太郎先生や石田純雄先生からもチャンスをいただき、作品を歌わせていただいております。

現代曲の時は、メトードもなく、胃が痛くなりながら勉強しました。ちやうど1970年代に入りかけた頃で、その少し前から、現代音楽というものが兆してきた時代です。歌曲もそうでした。

— 当時の学生の様子は？

秋山 国立の葡萄園？みんなが下宿しているところ。— そこに、仲良しがいて、遊びに行ったら、両隣からピアノの音がゴ〜って、すごいんですよ。とても歌なんか歌えないじゃないかと思う程。別の下宿に行ったら、今度は洗濯してるの。手でね。「北向ぎだから中々乾かないのよ」とか言いながら、洗濯物が山になっている。みんなたくましい！と思いました。

夢の舞台を目指し

— 最初に憧れた音楽家は？

秋山 伊藤京子先生です。テレビで日本歌曲を拝聴し、きれいだなぁと憧れました。それと若い先生方や先輩方、田口興輔先生、牧山



当館所蔵CD*と楽屋でのお写真

*左から、XD62926(ミュージカル・ヴィークル)/XD2511(ビクターエンタテインメント)/XD17955(フォンテック)/XD14771(BMG JAPAN)

静江先生、勝本章子先生……といった方々の活躍されるお姿、舞台を見て、憧れました。そう、なかなかすぐ国立のオペラに憧れ、ああいうふうにはきたらいいなあ、入ってみたいなと思いましたが、当時、国立校舎の講堂でオペラの上演があったんですが、オペラが始まる時の照明の素晴らしさ、うわあ、素敵ノと思いました。まだ人が出る前の、ワクワク、ドキドキノまさに夢の世界ですよ。

―挫折とかは全くなく？

秋山 挫折だらけですよ。大学院の時にはかなり行き詰まりました。シユワルツコップや、ディースカウのような演奏家が既について、「こんな素晴らしい世界があるのに、私が何で歌う必要があるんだろう」「そんな世界に入り、歌っていいなんてできるのだろうか」って不遜にも悩みました。その時、NHKの方から、「自分が歌うということが大事なんだよ」と言葉をかけていただき、すごく救われました。その後、大学院を出て、二期会に入り、オペラの勉強をしていました。でも、二期会の研究生の時にコンクールに入賞して、秋山恵美子という名前を少しだけ知っていただけのチャンスを頂きました。

最高にうれしいステキノ！

―椿姫を拝聴したことがあります。

秋山 そうそう。あの時は、実は大変だったんですよ。椿姫って肺病ですよ。あのヴィオレッタの咳には退院後13日目の秋山恵美子の肺炎の咳が混ざっていたのですから。

―迫真の演技で、大変素晴らしかったです。(大笑)。オペレッタやミュージカ

ルでも活躍されてますが、オペラと違う点とかありますか？

秋山 商業演劇の場合、自分の声に合った役が来るとは限りませんね。サウンド・オブ・ミュージックの修道院長の時は低いキーのまま歌いました。オーケストラがオペットでなく、舞台の後側のことや、テープのこともありました。テープの時は、きつかけが分からず大変怖い思いをしました。オペラとは全く違う世界でも、色々な体験をしています。

―よくご無事で。(笑)。

秋山 でも、秋山恵美子って不思議な人だつて、マネージャーの方から、よく言われました。大体、こういうミュージカルの方に行っちゃつて、戻れない人が多いのに、よくまたクラシックの感じになると。

―戻れると。

秋山 それは、『第九』や、『夕鶴』《メリーウイドウ》《こうもり》等をたくさん歌わせていただいたからだと思います。

《夕鶴》と言えば、團伊玖磨先生にご馳走になったことがあります。北海道の静内で、「秋山恵美子のへつう」が、できたね」って、大変喜んでいただきました。ステッキをご馳走になりました。それがもう忘れられないです。

《夕鶴》は、最初の時が大変でした。作品を知り尽くし、一つのファミリーにもなっている出演者やスタッフの中に、何も知らない新人として入って行き、しかも、本番まで3週間位しかなかったからです。聴いて、見て、メモして、稽古もほとんどなく、本番/本当に大変でした。

しかし、《へつう》は、貴重な体験だったと思っています。一つの作品を長く演ずることで、色々な発見があるんです。演出も3回変わり、その中で、自分も成長していきました。「ああ、こういう感情だったんだ」と分かることもあります。作品の中で、自分の成長と《へつう》の成長が重なって感じられるのです。

―童謡や唱歌にも、色々録音がおありですか？

秋山 大学院の時から『ラジオ音楽教室3年生』という番組を持たせていただいていたんです。NHK第2放送。リトミックの先生のご紹介で、歌のお姉さんみたいな感じでした。

―先生には、熱烈な後援会があるのと同じです。

秋山 ああ、まあ……。今でも、遠くから聴きに来てくださいますよ。でも、皆さん、ちよつとご高齢になりつつありますね。私も(高

齢になりつつありますけど(笑)。

学ぶことは楽しい!

—ステージで活躍される一方で、シュワルツコップ先生の講習会に参加されたり、三上かーりん先生のくにたちドイツ・リート研究会にも出席されていらっしゃるようですが、そういうふう

に学び続ける意味というのは…。

秋山 もう、知らないことばかりだからですよ(笑)。学ぶことは楽しいですね。研究なさっている方のお話を伺ったり、又、それに対する受講者の考え方を聞きするのがこの上もなく楽しいからです。

—シュワルツコップ先生の公開レッスンの時は、テレビ収録もあって、活躍中の先生方にとっては、かなり勇気が要りますよね。

秋山 そうそう。受講料払って受けていたのに、まさかさらされるとは思わないもの、私達ノ(笑)。でも、テレビのお陰で多くの方から、「見ました」って言っていたいただきました。再放送の時もそうでした。ありがたいことです。

白湯うでがおいしい。

—暗譜のコツをお教えいただきたいのですが?

秋山 くり返して練習すること以外にないのでは?但し、シチュエーションをちゃんと考えた上でね。難しい所やりにくい所等は、くり返す率が高いので、はじめに暗譜出来てしまうこともありま

す。ピアノストと合わせたり、オペラの稽古場に行くとき気が入り、「歌い手、秋山恵美子誕生ノ」。

身体にたたき込んだ音楽をくり返します。散歩したり、電車に乗る時も…。

—ありがとうございます?

秋山 特に練習不足だとあがりま

すね。若い頃は、緊張しすぎてあ

がっていたと思います。

—どのように対処されますか?

秋山 くり返し練習することと、

伴奏合わせの時に出来る限り暗譜

するようにします。伴奏合わせ、

特に暗譜稽古につき合せて下さる

ピアノストは本当にありがたいで

す。本番になったら、もうしよう

がないから、覚悟を決め自分を信

じて、パツと出て、歌います。

—本番前気をつけている点は?

秋山 直前のメロンとか、喉にひ

つかかりそうなものには気をつけ

ます。でも、食べちゃったらしよ

うがない。甘いものも、時々、喉

にひっかかることがあります。な

のに、《第九》の時は鉛なめると

か、矛盾していますね。熱めの白

湯は飲まないようにしています。

喉渴きますから。

—企業秘密かもしれませんね。

秋山 はい、「白湯うで」でございま

す。なんて(爆笑)。

生を、同じ空間を、共有する

—教える時の優しさや厳しさについて

は、どのようにお考えでしょうか?

秋山 学生に対して良くなるよう

にとどんなに心を砕いていても、

時によつて怖いと思われる瞬間も

ある訳だから…。難しいですね。

本当に怖いこともあると思うし、

厳しいこともあると思いますよ。

でも、そうしたことが力になって、

舞台に行くのが楽しく、舞台上で楽

にいられるようになるノと思つて

います。

—学生さん達に、何かアドバイスを

お願いします。

秋山 「アルバイトがあるから、

今日、講座聴きません」という学

生には、「うわあ、もつたない」

つて言います。「CDやDVDは

くり返し聴いたり見たりできる貴

重なもの。でも生の場合は、同じ

空間を、共有する!!。そういうこ

とはすごく大事だよ」つて、しよ

つちゆう言っています。

—公開レッスンも?

秋山 ああ、それはものすごい。

若い時つて、一流と言われている

人の演奏だつて、くさしたりする

ことがありますがね。でも、そこ

まで行くのが大変だつていうこと

が分かる訳です。ただ、生意気な

ところがあるからこそ、夢が持て、

飛び越えていけるとも思っています

…。

—国立で聴ける生は、貪欲に聴いてほ

しい?

秋山 と、思うんですけどね。そ

う言いながら、忙しくて自分がな

かなか聴けませんから、あまり強

要はできないんですけど。

—ご抱負をせひ。

秋山 今、ドイツ・リートと日本

の歌を歌いたい。美しい世界にと

ても浸りたいです。

秋山先生からの推薦資料

鴨下信一『日本語の呼吸』筑摩書房

請求記号●J15-987

音楽も言葉も呼吸が大事。

『いいなづけ
—17世紀ミラーノ
の物語—』

一ノ瀬俊和

イタリア古典文学の代表的な作品であるダンテの『神曲』といえ、読んだことはなくても、その名前くらいは聞いたことがあるでしょう。ところが、イタリア近代文学の代表作となると、首をかき上げてしまう人が多いのではないのでしょうか。もしそれをひとつだけ挙げるとすれば、19世紀前半に書かれたマンゾーニの長編小説『いいなづけ』ということとなります。マンゾーニは、日本文学でいえば、ちょうど夏目漱石に当たるような非常に人気のある国民作家です。彼の代表作である『いいなづけ』は、イタリアの中学・高校の教科書には必ず載っていて、現代標準イタリア語の規範にもなった作品なのです。

この作品は、副題にもあるよう

に、17世紀のミラーノとその近郊が舞台になっています。コモ湖のほとりにある村レッコの農民の青年レンツォと村娘ルチーアは婚約して、結婚式を挙げようとしています。ルチーアを見初めた領主ドン・ロドリゴがそれを邪魔しようとしてこの長い物語は始まります。若いふたりは、それぞれ村を出ることになり、運命に翻弄されて、さまざまな事件に遭遇し、さまざまな人に出会います。背景には、北イタリアの美しい風景や、当時の歴史的な状況、都会や田舎の庶民の暮らしなどが散りばめられています。いわば、歴史大河ドラマの趣で、ストーリー性も高く、ついつりこまれて読み進むことになっていくでしょう。さてさて、青年たちは結ばれるのでしょうか。みなさん、ぜひ答えを探してください！



請求記号 ●J116-199,200,201
『いいなづけ —17世紀ミラーノの物語—』上・中・下 A.マンゾーニ著
平川祐弘訳(河出文庫)

●いちのせとしかず 本学教授(イタリア語)

※ 私のお薦めの一冊

『音楽教育学大綱』
Grundriß der
Musikpädagogik
Sigrid Abel-Struth著
山本文茂監修

江崎公子

S.アーベルシュトルルト(1924～1987)はドイツの音楽教育学研究における第一人者である。音楽教育に関わる歴史、方法論、実践記録などさまざまな文献を実に丹念に読み、それらを網羅的に理論的に体系化したシリーズ本を出版した。この『音楽教育学大綱』はそれらの著作の最後を締めくくる『白鳥の歌』でもある。

彼女の文章はドイツにあっても難解だといわれている。この難解な文章の翻訳に39人が約3年以上たずさわった。筆者もその1人であるが、この本の全貌を知りたいという思いが39人もの人をつなぎ止めていたし、呼びかけ人で監訳者の山本文茂の強い意志が完成までこぎつけたのだらうと思われる。筆者のお気に入り箇所を紹介

しよう。
音楽という実践的行為のなかで、それに関わる知識と理論が何故必要かという設問に対してS.アーベルシュトルルトは以下のように述べている。

音楽授業等の実践に対し、理論ができることは「根拠づけられていない意見と一般化に対して慎重な態度をほぐくむこと」であり「自分の授業で決断を必要とされる場合の判断力を培うこと」であり「個々の事柄を通じて全体の多様性に目をむけること」と述べ、教育実践と理論の果たすべき機能の違いを指摘している。なるほど合点であった。

知と洞察に満ちた788頁の本、現在新刊は入手不可。図書館で借りよう。



請求記号 ●J100-738
S.アーベルシュトルルト著、
山本文茂監修『音楽教育学大綱』
音楽之友社

●えささきみこ 本学准教授(音楽教育学)

お伽歌劇 《ドンブラコ》

小関康幸

1912(明治45)年に東京の歌舞伎座で初演され、1914(大正3)年、宝塚少女歌劇団の第1回公演の舞台を飾り、さらに浅草オペラなどでも上演されたお伽歌劇《ドンブラコ》は、戦後は1999(平成11)年9月に大阪音楽大学が行なった再現演奏会で取り上げられた記録があります。この作品については、すでに本誌第229号(2002年4月)の4〜5頁で触れた記事があるのですが、少し違う観点からご紹介しようと思いい立ちました。

北村季晴

北村季晴(きたむら・すえはる 1872〜1931年)。筆名は成於。幼い頃オルガンに親しみ音楽に興味をもち、1887(明治20)年、明治学院に入学するも、東京音楽学校(現東京藝術大学)師範部に入學し直し、1893(明治26)年同校卒業。父が主宰する学校を手伝ったり、青森県師範学校に赴任したりしましたが、

1899(明治32)年より長野県師範学校教諭となり、在職中にはのちに県歌となる《信濃の国》を作曲しました。その後東京に戻り、1905(明治38)年より三越音楽部主任になりました。以後、カントータ《露宮の夢》、お伽歌劇《ドンブラコ》などを作曲した人です。

お伽歌劇《ドンブラコ》の内容

北村は、お伽噺の『桃太郎』を題材に、自ら作詞・作曲を行ないました。桃太郎の誕生と門出、出征途上の場、鬼が島への打ち入り、鬼が島場内の段、そして帰郷した桃太郎の場が描かれています。作品全体を通して、童謡、口吟、里謡などの既存の曲が20曲採り入れられている点に特徴があります。鬼退治を果した桃太郎は、彼らとのあいだに講和条約を結び、祝宴まで開いています。当時の日本は、日米通商航海条約を締結して関税の不平等を撤廃したばかりでしたが、こうした動向が作詞に反映したのでしょうか？



ラストシーンは桃太郎の軍を日本軍になぞらえ、そこにはいつも天皇がついているから大丈夫と賛美して《君が代》を斉唱するよう創られています。このシーンこそが戦後の上演を遠ざけました。

《ドンブラコ》の楽譜とCD

楽譜は1912(明治45)年1月に共益商社書店から出版されました。当館所蔵分は1月1日発行です。同じ出版社から出された国立国会図書館所蔵分は、同年1月29日発行です。わずか1カ月のあいだに最低2回は発行されたことになりました。

国立国会図書館の「近代デジタルライブラリー」を見ると、楽譜の全ページが画像としてインターネットで読めます。発行日の確認

もこれで行なえましたし、楽譜や科白部分も読めます。ですから、当館の楽譜にこだわらずこちらを利用するのも方法です。

しかしよく見ると、この両者には少しだけ相違点があるのです。それは(1)「簡単な舞台装置の例」の絵の有無(2)「本曲中に採取したる童謡口吟俚謡の類」一覧の有無で、これらはあるページの裏表に印刷されています(絵はカラー)。いずれも当館所蔵分にはあるのですが、近代デジタルライブラリーでは見当たりません。さて、最近この作品を収めたCDが出ました(宇野功芳指揮、アンサンブル・フィオレットイ)。丁寧な演奏が楽しめますし、通常はカットされる第4場も収録されています。しかも、ブックレットの解説は読み応えがあります。こちらも、参考にしてください。

参考文献・サイト

- ◆ 北村季晴「成於『ドンブラコ』(桃太郎)・お伽歌劇」共益商社、1912(請求記号●F9088)
- ◆ 北村季晴お伽歌劇『ドンブラコ』キング・インターナショナル KKCC-3023(請求記号●XD63017)
- ◆ 国立国会図書館「近代デジタルライブラリー」(<http://kindai.ndl.go.jp/index.html>)



歌の国 スウェーデン

三宅 巖

皆さんは北欧の作曲家と言われるどの作曲家を思い浮かべますか。フィンランドのシベリウス、ノルウェーのグリーグまでではなくに名前があがると思います。では、スウェーデンの作曲家と言われたらどうでしょう。誰も思い浮かばない方が意外に多いのではないのでしょうか。そこで今回紹介するのは、

初めて日本語で書かれたスウェーデンのクラシック音楽ガイドである『歌の国スウェーデン』です。この本の著者の戸羽晟（とばあきら）さんは1994年に財団法人スウェーデン交流センター事務局長に就任した際に、音楽ファンのクラシック音楽はレコードの

リリースがすくないのだろう」と疑問を持ち、以後スウェーデンのクラシック音楽の収集に努めた結果、コレクションは400枚を超えるようになったそうです。そしてスウェーデンのクラシック音楽について日本人に紹介するためにとまとめたのがこの本です。

この本の構成は二部構成で、第一部で民謡の宝庫であり、歴史に名を残す偉大な歌手を生み出した「歌の国」スウェーデン音楽の魅力と、スウェーデン音楽の流れをおおまかに述べて、第二部で作曲家の紹介・作品解説・CDの紹介を行っています（ちなみに、本書に出てくる「ニューミュージック」は「アヴァンギャルドの音楽」のことです）のでお間違いないように。作曲家は1950年以前に生まれた方を対象として、日本語カタカナ表記の五十音順に配列されています。作曲家の経歴、代表作の説明の後に、CDのリストが掲載されています。気に入った作曲家のCDを図書館のOPACで検索してみると良いでしょう。巻末には付録として、この本に関連する人

物紹介があります。また、CDジャケットやスウェーデン各所の写真が随所に掲載されています。

大変、読みやすい良い本なのですが、不満な点もあります。それは作曲家名の索引がないことです。たまたま聴いたCDの作曲家について知りたくてこの本を読む場合、まず、他の資料で日本語読みを調べた上で探す必要があります。わからない場合は第二部全体を頭から見ていくことになり、大変不便だと思えます。目次にも作曲家ごとの頁数表示がないので、作曲家名の索引（和文・欧文両方）があったら良かったと思います。

多少の問題がありますが、スウェーデンのクラシック音楽の紹介書としては最適だと思います。スウェーデンの音楽に関心のある方も、そうではない方もぜひ一読してはいかがでしょうか。

戸羽晟『歌の国スウェーデン：クラシック音楽ガイド』新評論、2008（請求記号●J13-946他）

参考図書室をあるこう

2

新しく参考図書室に入った本を  (本名 ブタンク BOOとも呼ばれる)が紹介します。



請求記号●X-020 M 1~M 2


X-020 人名辞典 国際的なもの

Händel und seine Zeitgenossen : eine bibliographische Enzyklopädie / Hans Joachim Marx. 2008

ヘンデルと同時代の人々 本文はドイツ語

没後250年を記念して出版されはじめた *Händel-Handbuch* (全6巻)の初巻(2冊)は、ヘンデル(1685-1759)と同時代の人々についての伝記の人名事典(682項目)です。J.S. バッハ、スカルラッチェ親子、テレマンなど同時代の有名作曲家については、ヘンデルとの関係を中心に書かれています。ヘンデルをとりまく当時の歌手、楽器奏者、王侯貴族、オペラ興行主、親族、友人など、他の音楽事典ではあまりお目にかからない人々も多く取り上げられていて、ヘンデルの人

間関係を詳しく知りたい人にお薦めです。2冊目巻末に、詳細なヘンデル演奏記録(1711年~1759年)付。索引: 作品名 付録: 参考文献(24 p.) 図版目録(10 p.) 他

 紙質が良いので、カラーの肖像画、カリカチュア、自筆譜など図版(217点)がすばらしくきれい。ヘンデルの肖像画(彫刻やレリーフも含む)だけで9点もある! ヘンデルは結局バッハには会えなかったけれど、D. スカルラッチェやテレマンとはずいぶん交流があったんだね。テレマンに宛てた手紙も載っているよ。

X-044 音楽家研究のための参考文献、便覧及び作品目録

Hugo Wolf Enzyklopädie / Ernst Hilmar. 2007


フーゴ・ヴォルフ事典 本文はドイツ語

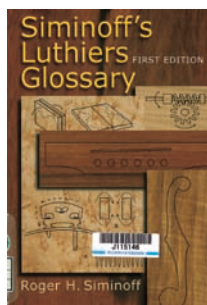
オーストリアの作曲家、フーゴ・ヴォルフ(1860-1903)の生涯、作品、活動と受容に関する事典です。本文522ページに含まれる項目数は518なので、1項目あたりのページ数はほぼ1ページ、各項目ごとに参考文献付です。カラーではありませんが、肖像画など180点(うちヴォルフ個人の肖像画・写真17点)、と図版も充実しています。冒頭に年表と項目名一覧、巻末に詳細な図版目録とヴォルフの作品リストが付いています。

索引: 人名・団体名、地名、作品名。



請求記号●X-044 W853 H

 最近、ヴォルフに関する資料がよく利用されているみたい。新しく買ったこの本も、使ってね。




請求記号●X-075 S

X-075 弦楽器及びその音楽に関する参考図書

Siminoff's luthiers glossary / Roger H. Siminoff

シミノフさんのリュウティエ(弦楽器製作者)用語集 2008 本文は英語

このハンディーなペーパーバックは、ヴァイオリン、ギターなどさまざまな弦楽器製作に関する実用的用語集です。同じ著者の *The luthier's handbook: a guide to building great tone in acoustic stringed instruments* (2002) も、書庫にあります(J99-177)。著者のロジャー・シミノフは主にギター、マンドリン、バンジョーなどの製作・販売に長くかかわってきた人で、雑誌、*Pickin' magazine*, *Frets magazine* を創刊したことも知られています。巻末に楽器木材のカラー見本が30ページ近く掲載されています。

 弦楽器製作者を意味するフランス語、luthier(英語読みはルシアー)の語源はリュートなんだ。測定・製作に必要な数値やグラフもたくさん載っているけれど、アメリカには趣味で弦楽器を作る人がいるのかしら?



今回紹介した本はどれも図版がとてもきれいだから、手にとってみてね。

図書館ホームページ <http://www.lib.kunitachi.ac.jp> 新刊情報→参考図書  で紹介しています。

Music Onlineの簡単・使い方

二塚 恵里

インターネット室の端末の画面がだんだん賑やかになっていることにお気づきでしょうか？ ばららんでも何度かご紹介していますが、Alexander Street Press社提供の音楽データベースが数多く追加され、特にインターネット上で音楽や映像を視聴できるサービスがバラエティ豊かなものとなっています。ここでは、その様々なデータベースをまとめて検索できる「Music Online」を使ってみましょう。

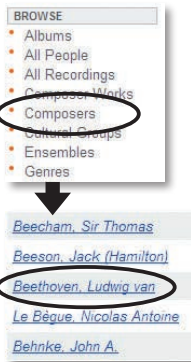


Music Onlineとは

クラシックを始めとする世界の音楽やオペラ・ダンスの映像、楽譜、参考図書などのデータベースが1つになったものです。クラシック音楽の楽曲約52,000トラック、楽譜約15,000点、オペラの映像約250点などが含まれます。

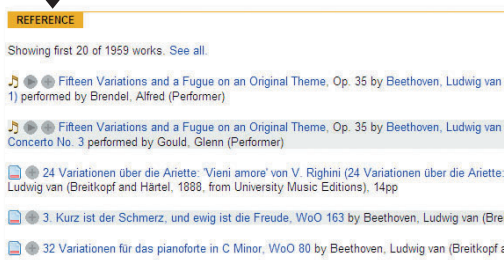
使い方①ブラウズ

トップページの左側にある「BROWSE」以下の項目をクリックすると、作曲家やジャンル、地域、時代などのリストが表示されます。



「Composers」を選ぶと作曲家のアルファベット順のリストが出てきます。

作曲家名をクリックすると、略歴とともに、その人物に関する作品一覧が出てきます。



アイコンでデータの種類が区別されています。



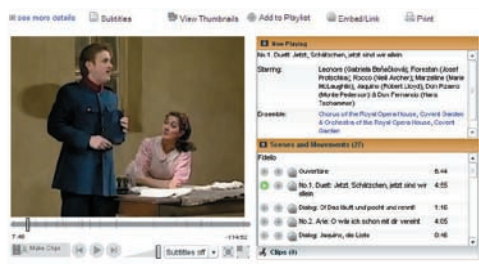
楽曲データを開くと、その曲に限定した録音、映像、楽譜一覧が見られます。録音・映像は再生ボタンをクリックすると再生されます。

このように、数回クリックしていただけてもすぐに視聴・閲覧できるようになっています。

使い方②検索

自分でキーワードを入力して検索する方法もあります。トップページの上部にある検索ボックスを使用するか、「Search」をクリックして詳細検索画面を開きます。キーワードは欧文で入力する必要がありますが、数文字打ったら候補が表示される予測入力機能もついています。

画面例



映像－日本語はありませんが、字幕もつけられます。



楽譜－1ページずつ画像で表示されます。

利用するには

参考図書室（録音・映像の再生を除く）、及びインターネット室の端末で利用できます。本学学生・大学院生・教職員の方に限り、自宅などの図書館外からも利用できます。図書館ホームページの「学内者専用データベース入口（利用者ログイン）」からアクセスしてください。

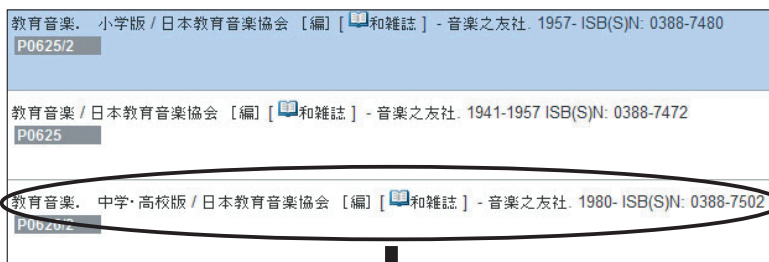
Jazz Music Libraryが追加されました。Music Onlineに含まれるデータベースの1つで、ジャズの楽曲約19,000トラックが配信されています。

新OPAC(KCML OPAC)について③

雑誌の請求について

7月から、OPACで雑誌の各巻号の在庫状況がわかるようになり、「請求する」ボタンでの請求が可能になりました。今回はその方法をご紹介します。

- * 図書館内の各OPAC端末の側にある「KCML OPACの使い方」のファイル（図書館HP上にPDF版あり）にも同様の説明があります。
- * 本学及び他大学の研究紀要はOPACでは検索できません。図書館内にある紀要所蔵目録で所蔵を確認し、請求票（水色）に記入してください。



- ① 検索結果の簡略表示画面で雑誌のタイトルをクリックします。



- ② 詳細表示の「所蔵情報」タブが開きます。「巻号」欄で当館所蔵をご確認ください。次に、請求したい巻号の発行年をクリックします。



- ③ その年に発行された、当館所蔵の巻号一覧が表示されます。他の資料と同様に「請求する」をクリックして利用者番号とパスワードを入力すると請求できます。

WebOPACの対応ブラウザ及びバージョンについて

Firefox 1.0, 1.5, 2.0 and 3.0
Internet Explorer 6 and 7
Safari 2 and 3
Opera 9.0

左記以外をお使いの場合、WebOPACが正常に動作しないことがあります。ご注意ください。

図書館のら・ご・き

◆自由閲覧室の改修概要

図書館では平成15(2003)年度から以下のように施設改修を行い、開館以来40年以上使用している机等の入れ替え、それに伴うネットワーク対応を実施してきました。

平成15(2003)年度：施設改修1年次 AV資料室（視聴卓：45席）

平成16(2004)年度：施設改修2年次 参考図書室
（利用者用キャレル 情報コンセント付：35席、
長机：2台、情報端末コーナー：8席）

平成17(2005)年度：セキュリティゲート（入館システム）設置

平成18(2006)年度：施設改修3年次 参考図書室（閲覧用大机：8台）

平成19(2007)年度：施設改修4年次 参考図書室：雑誌コーナー
（雑誌架・長机：2台）

平成20(2008)年度は改修を見送りましたが、今年度の夏は自由閲覧室を改修することになりました。目録カードが残っていますが、OPACで検索できるようになりましたので、思い切って、原則廃棄としました。また、マイクロフィルムリーダ機も古くなっていましたので、卒論・修論、貴重書などの資料の電子化への切り替えに伴い、台数を削減します。

新しい自由閲覧室は以下の3つのエリアに分けます。

1) ガイダンス対応エリア

基礎ゼミを実施しているスペースです。可動式の机と椅子を配置、プロジェクターを使用しながらの図書館ガイダンスを行えるようにしました。ガイダンスが実施されていないときは、机を移動させ、グループ学習のためのスペースにもなります。

2) 自習スペース

現在の自由閲覧室と同じ大型机を配置した自習スペースです。無線LANを設置しますので、持込のPCでインターネットアクセスも可能になります。

3) PC設置席

今まで1階のAV資料室で提供していたインターネット室機能と2階の参考図書室の情報端末機能を合体させ、更にWord/Excelなどを使用できるようにしてレポート作成も可能にします。ただし、PC設置そのものは来年1月の予定です。

リニューアルされた自由閲覧室を大いにご活用ください。

主任司書 松浦淳子

もう一五年も前のことである。アウクスブルクで開かれた学会に出席したあと、数日の余裕があったので、以前からは非行つてみたかった「ロマンティック街道」沿いのネルトリンゲンを訪ねることにした。街を美しい円を描いて市壁が囲む典型的な中世都市の姿を、以前から写真で見ていたからである。

鈍行列車に揺られて旅をし、駅に到着したのはだいぶ日が傾いてきた頃であった。安ホテルに荷物を置き、すぐに市壁を巡っている通路を歩いてみることにした。仕事から帰り夕餉の支度をする時間であったからであろう。市壁の通路では、誰とも出会わなかった。

途中、夕暮れの町並みを眺めていると、思いがけないことに、目に熱いものがこみ上げてきた。鋭い才知も深い学識もない自分が、いろいろな方々の好意を受けながら、迷いつつヨーロッパの歴史を学んできた。そして今、歴史の面影をとどめる家並みを目に焼き付けつつ、一人暮れなずむひと時を味わっている。

混沌とした学生時代には暗中模索であった自分が、歴史の流れのどこにいたのか、かなり明確になつてきた。数百年前の政治的事件であれ、二〇〇〇年前の歴史であれ、二五〇〇年近く前の文化であれ、今を生きる自分にとって無縁ではない。

そして、歴史に生きた人物や思想をその時代背景との関連において理解することも、できるようになつてきている。「歴史を学んでこれて、よかった」。そのことが胸に迫つてきたのだと思う。

音楽を磨き上げるためにも、歴史を学んでほしいと思う。作曲家たちが生きた時代を知り、作品の背後にある文化の香りを味わってほしい。

Parlandoのあゆみ

ばるらんど

その13

図書館員のノートから ④

前号に続き、参考図書を紹介するシリーズです。43回まではタイトルの「ノート」は「のおと」となっていました。

- 44 詩人の名前からドイツ歌曲を一覧できる実用的な索引 (219)
*German poetry in song*と*Index of composers' titles*
- 45 『図説ギリシア・ローマ神話文化事典』 神話の遺産を再発見するガイドブック (220)
「エルメスのスカーフ、メナード化粧品、アポロ計画……」
- 46 ポリフォニー音楽の手稿史料を知りたいときに (223)
Census-catalogue of manuscript sources of polyphonic music, 1400-1550. 所蔵機関、曲種別内容リスト、作曲者リスト、形態、参考文献など
- 47 『図説キリスト教文化事典』 キリスト教の遺産を再発見するガイドブック (226)
主に大学生を対象としたフランスの事典の翻訳版、教会音楽も含む
- 48 につけるはるぼ? 楽器事典いろいろ (227)
参考図書室「X-073: 楽器・器楽全般に関する図版、文献目録等」の棚へ、見かけたけれど名前がわからない楽器を調べる本もある
- 49 音楽家を知りたいときに—音楽家人名辞典索引—(228)
Internationaler biografischer Index der Musik. 15-19世紀の作曲家、演奏者などがどの人名辞典に載っているかを探索
- 50 音楽作品になった題材を調べるときに (235)
Kompendium der musikalischen Sujets. 歴史、神話、人物など特定の主題によって作曲された作品の便覧
- 51 ダックルズって何? (236)
Music reference and research materials. 事典を探索するための事典
- 52 ハイネの詩と音楽 (247)
Heine in der Musik. ハイネの詩に基づく音楽を探す
- 53 音楽用語・略語を調べる (249)
参考図書室「X-010: 楽語・事項事典」の棚へ
- 54 『メッツラー音楽大事典』〜見て、聴いて楽しめる新時代の音楽事典登場〜 (252)
日本語版DVD-ROM 教育芸術社
- 55 <続>音楽作品になった題材を調べるときに—美術篇— (261)
Music inspired by art. 美術作品を基にした音楽作品を探す
- 56 春です。参考図書でレパートリーをひろげよう(262)
編成や声質、声部などから曲を探す
- 57 RISM (リスム)とRILM (リルム)〜音楽学・音楽史研究に不可欠な情報ツール〜 (263)
自筆譜や初版譜などの所在や先行研究を調べる

* かつこ内は掲載された号数です。
* 現在の所蔵状況とは合致しない内容が一部含まれています。
* 記事掲載時と現在の請求記号が違っている資料についての紹介が一部含まれています。記事を参照して資料請求する際は、再度OPACで確認してください。
* 記事の内容を読みたい場合は、『ばるらんど』の請求記号PI154と希望の号数で請求してください。

新たな『水車小屋』へのアプローチ

演奏学科声楽専修4年

宮西一弘

この『美しき水車小屋の娘』の特筆すべき点は
・貴重な映像資料であること

・演奏者が独自の装飾音をつけて演奏する
という今までにないアプローチで演奏して
いること

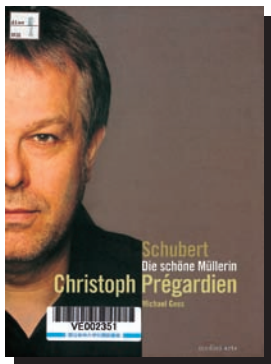
・現代のドイツ・リート屈指の歌い手である
プレガルディエンの演奏であるということ
であると私は思う。

まず『水車小屋』の市販されている映像で私
が知っているのはディースカウの2種類のみ
である(ピアノはエッセンバッツハとシフ)。こ
れらの映像はディースカウの引退直前の映像
で、さすがのディースカウも若干歌が崩れて
しまっているところもあり、やや残念なも
のである。しかし、このDVDはまだまだ現役
のプレガルディエンの瑞々しい歌が聴ける貴
重なものになっている。

次にこの映像の演奏はシューベルトの友人
であるフォーゲルの即興演奏を譜面に起こし
て作られたフォーゲル版を基に、演奏者が独
自の解釈で装飾音をつけて演奏するという手
法がとられている。逆に言えば楽譜どおりで
はないのであるが、原曲の魅力を損なわな
い装飾をつけており、これはこれで大変面白い
演奏である。

最後は一番重要であるといえる演奏者であ
る。プレガルディエンをご存知の方は少ない
かもしれないが、独特の柔らかい響きを持っ
て生き生きとした若々しい声で、粉職人の恋と
失恋と死に向かつていく感情の変化を歌い上
げている。第7曲の『いらだち』が原調ではな
く低い調に移調されているが、それを補って
余りある素晴らしい演奏である。

『美しき水車小屋の娘』はバリトンやバスの
演奏もいいが、私はやはり若々しい声のテノー
ルが演奏するのが一番だと思う。ペーター・シ
ュライアー、エルンスト・ヘフリガー、フリッツ・
ヴンダーリヒなどの往年のドイツの歌い手の
名盤は多いが(個人的にはヴンダーリヒは美
声過ぎて粉屋の純粹さが感じられず、あまり
好きになれないのだが)、このプレガルディ
エンの映像もそれらと肩を並べるほどの素晴
らしい演奏であると思う。多分、この図書館
で唯一の『美しき水車小屋の娘』の映像資料で
あるので多くの皆さんに利用していただけた
らと願うばかりである。



請求記号●VE2351
Schubert Die schöne mullerin
(Medici arts : 2057308)

●みやにしかずひる この曲集の主人公に自分は似ている気がします。でも小川と話す粉屋はよほど友達がいなかったのでしょうか…

言葉で味わう音楽

音楽文化デザイン学科音楽創作専修4年

成清翠

突然ですが、曲を書くことはとても苦しい
です。完成という2文字に向かって自分自身
が突き進むわけですが、そこに辿り着くまで
に何が起きるか分からないのも、また楽しみ
でもあります。

この原稿のお話を頂いてから、何の資料を紹
介しようかしばらく悩みました。ましてや原
稿の締め切りと前期の作曲作品提出が同じ日
ということもあり、今まさに私はどちらも書け
ない不安と焦りを覚える日々を送っています。

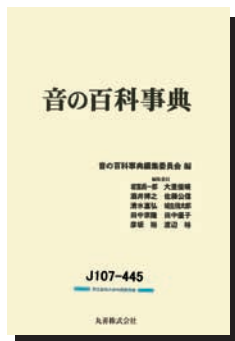
そんな時は大抵、巨匠と呼ばれる作曲家た
ちの楽譜や音源から、何かしらのヒントを求
めることが多いのですが、それともう一つ、私
がいつも参考にしている本があります。それ
は『音の世界を様々な切り口から解説してい
る『音の百科事典』です。

私は昨年から作曲のアイデアの一つとし
て、人間の構造や言葉に伴う音をテーマに取
り上げているのですが、そういった資料は音
響工学などの専門書などに多く見られます。
しかし、自分の『音』に反映させたかったので、
音楽そのものの観点で書かれている資料はな
いか探したところ、学生の皆さんにあまり知
られていない参考図書室の物理のコーナーで、
この事典と出会いました。

その名の通り、とにかく「音」に関することならジャンルを問わずなんでも書いてあります。「生成音声学」や「音響生態学」などの専門用語から、「カラオケ」や「スポーツ中継」などの生活の中で使われる身近な音の用語まで、ページずつ開くごとに新しい発見があるので、事典というより「音の参考書」のような感覚で読みました。また、調べたいことだけではなく、小説のように一気に読みたくなる事典です。

最近では或る文学のジャンルを扱った曲を書いているので、言葉が持つモロー、所謂「音韻」のページを何度も読んでいます。(何が書いてあるか気になる方は是非読んでみてください) 出来れば家へ持って帰りたいところですが、残念ながら参考図書なので大学のみでしか閲覧出来ません。しかし私にとつて、作曲の苦しみから脱するための一つのアイテムとなっています。楽譜から見る音楽と、音源から感じる音楽以外に、言葉で楽しむ音楽も是非味わってみたいかがでしようか？

そして私はこの事典を片手に、一つでも多くのインスピレーションを受けて、一音一音書き進めたいです。



請求記号●R424/O
『音の百科事典』丸善

●なりきよみどり 大学生活も残すは半年。大好きな友達と共に、1つ1つの経験が素敵な思い出になるようにしたいです。



音楽研究科音楽学専攻2年 浅田直樹

このCDはムラヴィンスキー・ファンはもちろん、何度も耳にしている名曲を斬新な解釈で聴いてみたいという人にもおすすめの1枚だ。エフゲニー・ムラヴィンスキー(1906~1988)は、20世紀を代表する指揮者の一人で、レニングラード・フィルハーモニーと共に、数多くの名演を繰り広げた。彼の音楽は圧倒的で、一度それを体験してしまうと、他の演奏がしばらく聴けなくなってしまうほど、強烈な支配力を持っている。私が初めてムラヴィンスキーの音楽を聴いたのはこのCDだった。モーツァルトの《ドン・ジョヴァンニ》序曲とブルックナーの交響曲第7番が収録されている。

まず、《ドン・ジョヴァンニ》だが、これは《フィガロ》と並ぶモーツァルトのオペラの最高傑作の一つで、序曲は短調と長調の部分に分かれている。冒頭からやたらと分厚いバスがフォルテで鳴り、まるで騎士長の亡霊が地獄の底からじわりじわりと迫ってくるような印象を感じずにはいられない。しかし、テンポがアンダンテからモルト・アレグロとなり、長調に移行する場面になると、雰囲気は一変し、疾風のごとく音楽は突き進んでいく。私が聴いた演奏の中で、これほどテンポを急激に変化

させている例は他にない。最初に聴いた時は、指揮者が興奮のあまり我を忘れたのかと思っただけだ。しかし、音楽の勢いは衰えることを知らず、聴いている方もだんだんその音楽の渦に飲まれていき、輝かしいクライマックスへと至る。

次にブルックナーだが、こちらは打って変わって静謐な雰囲気満ちている。全楽章を通して強弱のコントラストがはつきりしており、曲の核心部分を明確に表現している。依然として重厚な低音が目立つが、それがむしろ奥行きのある音響を作り出している。また、この曲が持つ叙情的な側面を強調しすぎることなく、音楽は厳格にコントロールされている。演奏は無味乾燥なものではなく、感情と知性が程良く調和している。特に第3楽章のスケルツォの弦のリズムにそれが表れている。

これらの曲には数多くの名盤が存在するが、それらと聴き比べてみると、このCDの面白さが何倍にもなるだろう。



請求記号●XD33088
Symphony no. 7 / Bruckner.
Overture to Don Giovanni / Mozart (The Mravinsky Collection)
(Russian Disc : KKCC-6530)

●あさだなおき 日常生活に刺激を与えてくれるのは、新たな「発見」だと思います。みなさんも数多くの発見をし、豊かな生活を送りましょう。

Information

夏休み前に借りた資料の返却は

7月以降に借りた資料は、もう返しましたか？忘れずに早めに返却しましょう。返却期限は、資料と一緒に渡される貸出票の日付を確認してください。

CDの返却前に資料の確認を

CDの1週間貸出が始まって5ヶ月になりますが、「CDや解説書が入っていないかった」「自分のCDを入れてしまった」「CDや解説書を請求記号の違うケースに入れてしまった」などのトラブルがしばしば見られるようになりました。これらの場合、返却処理ができませんので、CDの返却前には今一度資料が揃っているか確認をお願いします。また、CDを借りた際に資料の状態に不自然な点がありましたら、AVカウンターまでお知らせください。

TAC便の開始は

9月2日(水)から開始します。当館で所蔵していない資料でもTAC加盟館にある場合、TAC便を利用すれば当館資料と同じように利用できます。申込は受付カウンターで。

付箋はがして返却を

返却された本や楽譜に付箋が一杯貼られたのが見られます。学習のために付箋を使われているようですが、できれば図書館資料には付箋を使用しないでください。やむを得ず使用する際は品質のよいものを選び、返却時には必ず付箋をはがしてください。また、付箋をはがす際に表面をはぎ落としてしまう場合があることや、残った糊がカビ・虫食い・シミの原因になることから、館内閲覧のみに利用が制限されている資料には付箋を使用しないようお願いいたします。

がんばって教育実習

実習に行かれる方は、受付カウンターで「教育実習」と申し出てください。和図書・楽譜の貸出期間が2週間から4週間になります。CD、映像資料の教育実習貸出は行っていません。

「大学図書館ランキング」

2年連続1位に

朝日新聞社が発行する『大学ランキング』2010年度版における「大学図書館ランキング」総合(学生1人あたりの数値)で、昨年に続いて当館が1位に選ばれました。

ガイダンス

- 6月 5日(金) 藤本一子先生クラスガイダンス(大学院1年)
- 6月18日(木) 江崎公子先生ゼミガイダンス(4年・学校教育)
- 7月 7日(火) 中館栄子先生ゼミガイダンス(4年・リトミック)
- 7月13日(月) 酒井美恵子先生ゼミガイダンス(4年・学校教育)

ゲスト

- 6月23日(火) 東京都立青梅総合高等学校の1年生6名
- 7月14日(火) 東京都立松が谷高等学校の2年生4名
- 7月29日(水) 私立桜華女学院の中学生1名、高校生7名、教員1名

テーマ展示 in ブラウジングルーム・AV資料室

6月22日(月)～7月31日(金)

偽作？疑作？

企画●国立音楽大学附属図書館広報委員会

一般的に大作曲家の作品と認知され、普及している作品のなかでも、音楽学の研究によりその作曲家の作品でないことが判明したり、別の作曲家の作品と確認されたりすることがあります。今回の展示はそうした作品の中から特に有名なものを集めてみました。

8月31日(月)～10月9日(金)(予定)

ヨーゼフ・ハイドンの初期交響曲 ～没後200年～

企画●国立音楽大学附属図書館広報委員会

今年、没後200年を迎えたヨーゼフ・ハイドンの初期の交響曲に関する本や楽譜をご紹介します。



Library Calendar

9

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

10

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

11

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

■ Parlando・ゼノビア・264号・September 3, 2009・ゼノビア・「誰しかけのKIN」・ユズノ意味の楽園記・6号・雑誌・国立音楽大学附属図書館■編集担当・島部真由子・森田倫子■

◆ ■ 閉館

◆ 月～金 8:50～19:00 (書庫内資料の受付は18:00まで) ●AV資料室 8:50～18:50 (受付は18:10まで)

◆ 土 8:50～17:00 (書庫内資料の受付は12:00まで) ●AV資料室 8:50～12:00 (受付は11:50まで)